



選択協議題A

地域との連携・協働による新しい
高等学校づくり【三重県】

三重県教育委員会事務局
教育政策課長
上村 和弘

選択協議題A

地域との連携・協働による新しい 高等学校づくり【三重県】

1 はじめに

2 地域の産業界と連携した高校づくり

- 三重県立四日市工業高等学校・専攻科（四日市市）

3 地域と連携した小規模校の活性化

- 学校別活性化協議会の設置
- 地域課題解決型キャリア教育モデル構築事業
- 三重県立飯南高等学校（松阪市）

1 はじめに

県立高等学校活性化計画

1 計画期間：平成29～令和3年度までの5年間

2 基本的な考え方

① 新しい時代を生き抜いていく力の育成

○ 主体的・対話的で深い学び ○ 「三重ならではの」教育

② 生命を大切にできる心を育み一人ひとりに応じた教育の実現

○ 学び直し、日本語指導、特別な支援、経済的に不利な環境等のニーズに適切に対応

③ 人口減少社会における高等学校のあり方

○ 高校→ 「地域でどのような役割を担い地域に貢献するか」という視点で

○ 地域・産業界→ 「子どもたちのために学校とともに取り組む」という視点で

④ 学校の組織力と教職員の資質の向上

○ 学びの質や深まりを重視した授業改善 ○ 専門性の向上 学校の組織力の向上

3 高等学校の規模と配置

・ 望ましい学校規模 1 学年 3 学級から 8 学級

・ 1 学年 2 学級以下の高等学校 → 地域と一体となって活性化（3 年間）

2 地域の産業界と連携した高校づくり

三重県立四日市工業高等学校専攻科（四日市市）（1）

充実した教育内容

- ・ 高度な精密加工や自動制御などの知識・技術を身につける。
 - ・ 製造工程や製品の説明などを英語のできる語学力を身につける。
 - ・ 幅広い知識とともに課題解決力を身につける。
- ➡
- ・ 生産現場でリーダーとなる技術者を育成
 - ・ 技術の高度化、グローバル化に対応できる人材を育成

企業研修

- 地元企業の見学及び研修を実施
地元企業の業務内容に対する理解を深める
- ・ 「総合実習」（毎週金曜日）
【研修実施事業所（四日市市内）】
味の素株式会社東海事業所
中部電気保安協会
クノール食品株式会社中部事業所
ジャパンマテリアル株式会社
株式会社中村製作所
株式会社伊藤製作所
株式会社三鈴エリー
株式会社ナカムラ工業図研
パナソニック株式会社四日市事業所

高大連携

- 県内の大学と連携
- ・ 鈴鹿大学の英語の講座を受講
グローバル人材として必要な語学力を身につける
「ビジネス英会話」「TOEICの英語」
- ・ 三重大学の教員による講義
技術者として求められる高度で専門的な知識を習得する
「機械設計」「機械要素設計」「工業力学」
「電磁気学Ⅰ」「電磁気学Ⅱ」

企業・団体・行政・学校の連携による実践的教育



1期生：11人（機械コース6人、電気コース5人）

協働パートナーズ

- ・ 専攻科の教育活動を支援する組織
- ・ 人材育成会議を開催
（年2回：10月、3月）
- ・ 登録事業所等
（平成30年11月末現在42団体）

社会人講師

- 技術者による講義及び技術指導
企業で必要となる幅広い知識・技術を習得する
- ・ 「生産技術」
ジャパンマテリアル株式会社
- ・ 「生産管理」
株式会社ナカムラ工業図研
株式会社NTTファシリティーズ東海
東洋ゴム工業株式会社
- ・ 「プログラミング演習」「制御工学」
DMG森精機株式会社
- ・ 「実習Ⅱ」
株式会社中村製作所

ものづくり

- 企業と連携したものづくり活動
チームで課題を解決する力を身につける
- ・ 総合格闘コマ大戦（12/9）に参加し、総合4位、チームワーク賞を受賞
- ・ 株式会社中村製作所と共同でコマの企画、設計、製作を行った



地域産業を担う人材を、企業・行政・学校等の連携のもと、育成！

三重県立四日市工業高等学校専攻科（四日市市）（2）

海外インターンシップの実施

目的

- ・ 国際的視野を広げ、将来グローバルな舞台で活躍できる資質を養う。
- ・ 経営者や管理者の視点で海外進出についての考えを深める。

専攻科1年生
9人が参加

研修先

フィリピン

株式会社伊藤製作所フィリピン子会社、JICA、JETRO、フィリピン日本人商工会議所、パラニャケ下水処理施設建設現場（JICA事業）

期間

平成30年9月24日（月）から9月29日（土）まで

研修内容及び成果

事前研修（9月7日）

株式会社伊藤製作所の本社で、会社の概要説明、安全教育、工場見学を行いました。また、社長の講義から海外進出の意義や目的を学びました。



JICA（講義及びプラント建設現場見学）、JETRO（講義）、フィリピン日本人商工会議所（講義）での研修をとおして、海外貢献の在り方や日本企業の海外進出の動向及び現地の実情について学び、視野が広がりました。

伊藤製作所フィリピン子会社での研修（設計、生産管理、品質管理の各部門のリーダーによる英語でのレクチャーや、副社長による金型及び経営に関する講義）をとおして、リーダーの視点で事業や仕事について考えることができました。



生徒の感想

- ・ 物やお金の援助だけでなく、技術やノウハウを伝えることで国際貢献できることが分かりました。
- ・ 普段からグローバルな視点、広い視野をもって物事を考える重要性を感じました。
- ・ 英語をもっと勉強しようと思いました。

地域産業を担う人材を、企業・行政・学校等の連携のもと、育成！

3 地域と連携した小規模校の活性化

学校別活性化協議会

1 枠組み

○学年2学級以下の小規模校（3学級もこれに準じる）に設置

○市町関係者、地元産業界、小中学校及び高校の保護者・教員等で構成

2 設置校（9校10校舎）

- ・白山高校（津市） ・飯南高校（松阪市） ・昴学園高校（大台町）
- ・南伊勢高校南勢校舎（南伊勢町） ・南伊勢高校度会校舎（度会町）
- ・鳥羽高校（鳥羽市） ・志摩高校（志摩市） ・水産高校（志摩市）
- ・あけぼの学園高校（伊賀市） ・紀南高校（御浜町）

3 役割

学校と地域関係者が一体となり、地域の状況や高校が地域で果たす役割、学校の特色等に配慮しながら、学校の特色化・魅力化、市町からの支援方策、学校のPRなどについて協議し、具体的な活性化の取組を推進

地域課題解決型キャリア教育モデル構築事業

1 事業の趣旨・目的

- 生徒が地域を学び場に、地域課題や地域の特色ある産業を題材に地域の大人や職業人と関わりながら課題解決に取り組むことを通じ、これからの社会に対応できる「生きる力」を育む。
- 生徒たち自身が、地域の一員として、地域に魅力や誇りを持ち、地元で活動する将来を思い描けるようになり、ひいては人口減少に歯止めをかけ、住民が活力を持って暮らす街づくりに貢献する。

2 取組の内容

- 地域とともに学校別活性化協議会を実践パイロット校に指定
- 学校別活性化協議会の取組を土台に、取組を教育課程に埋め込んで年間を通じて実施
- 地域資源を活用した第1次産業や地場産業においてプロの職業人とともに一定期間実践活動
- 都市部での実験販売や市場調査
- 先進地での成功要因をフィールドワークにより自分の目で確認
- 高校と市町・地域をつなぐコーディネーターを配置 →地域の人的・物的資源を活用

3 事業の期間

令和元年度～3年度までの3年間

課題解決型学習（PBL）

『答え』のない問題を考える

コミュニケーションが必然的に発生

本物に触れる・大人にダメ出しを受ける

リアルに体験する → リアルに考える

能動的学習者は能動的学習体験を通じて育つ

大学入学がゴールではない → 『志』を偶然発見するかも...

「人間力」（土台）が整って本物の学力（見える部分）が備わる

→ 「想定外」・「板挟み」・「修羅場」が発生

→ チャレンジングなマインドは高まる（不戦敗はしない）

地域課題解決型キャリア教育モデル構築事業

今まで

教室での知識中心の学び

具体的な取組内容例

地域全体が学校

年間を通じた地域産業の体験学習

観光業やミカン産業、福祉施設などへ

地域を学ぶ

地域の歴史や文化・現在の課題など

地域でのフィールドワーク

地域の企業、自営業者、行政・公共施設

地域の職業人との出会い

地元の第1次産業等で活躍するカッコイイ大人

地域でのインターンシップ

- ・夏休み期間に地域の現場で実際の業務を体験
- ・年間を通じてのインターンシップ

学校が社会と接点を持ち、多様な人々とつながりながら学べる環境

プロフェッショナルによる講義

大学教授やプロの職人などが先生に。

専門性を生かした商品開発

6次産業化

6次産業化を視野に入れた農林水産資源の商品化、美容関係商品の開発など

都市部での市場調査

東京のパイロットショップ「三重テラス」でのアンケートや実験販売など

県内外の高校生との交流

- ・同様の取組をする県外高校生と交流
- ・「高校生地域創造サミット」等で県内外の高校生と交流

めざす姿

正解のない地域課題の解決に取り組む探究活動や実社会でのリアルな学習活動を通じて、地域への愛着が高まり、汎用的な「生きる力」が育つ



「チームいなん」の挑戦 ～未来を切り拓く“地域に根ざした人材”育成～

【育成する地域人材像】

自ら考え挑戦したり、多様な価値観を持つ人々と対話・協働したりしながら、地域への愛着を持って、地域に貢献し、地域の未来を切り拓くことのできる**地域に根ざした人材**

地域課題解決型キャリア教育

産業社会と人間
 地域魅力マップ作り
 「道の駅」で掲示・評価
 ↑
 地域住民・行政担当者との懇談
 街頭インタビュー

キャリアデザイン
 過疎地域での仕事・生活を考察
 ～豊かさとは？～
 ↑
 地元の起業家・企業人との懇談
 U&Iターン者と懇談

いなんゼミ
 自身の提案に基づく実践
 「いなんゼミ」発表会
 ↑
 地域課題研究
 (生徒自身でテーマ設定)
 仲間と対話、活動を創造

<1年生>
 産業社会と人間
 各教科

<2年生>
 キャリアデザイン
 (学校設定科目)
 各系列での学び

<3年生>
 いなんゼミ
 (総合的な探究)
 各系列での学び

～資質・能力～
 対話力
 追究力
 創造力
 発信力

各教科・科目
 「グループワーク」
 スキルの向上

課外

道の駅コラボプロジェクト
 飯南・飯高地域の魅力発信
 ↑
 各系列、部活動で開発・制作した
 作品の出品、販売
 (緑茶ラテアートなど)

地域のフィールドワーク

各系列の特色を生かした地域貢献の学び
 【郷土・環境系列】 松阪赤菜等、地域特産物の栽培⇒商品化、付加価値化を探究
 【介護福祉系列】 地域の福祉課題を調査⇒行政・福祉施設と改善に向けた懇談、提案
 【コンピュータ系列】 マーケティング手法を学習⇒販売計画、販売促進に活用
 【総合進学系列】 大学との連携⇒市議会等、地域の現状・課題を学び、改善提案・発表



【校門から校舎へと続く杉並木】

地域課題解決型
 キャリア教育推進委員会(仮称)
 (運営指導委員会)

検証・助言



【緑茶ラテアート】



連携

地域人材育成コンソーシアム・いなん (仮称)

地元行政	地元企業	地域住民
NPO	大学	連携中学校

支援



【「飯南」Tシャツ】

高校生地域創造サミット

～サミットの成果を次世代につなぐ～
全国の高校生がともに地域と未来について考え、行動する

○開催日・参加者

- ・平成29年12月26日(火)、27日(水)
- ・三重県内の高校生、県外(静岡、大阪、広島、高知、島根)で先進的に地域課題や地域活性化に取り組む高校生 **計93名参加**

○開催場所

- ・南伊勢町(少子高齢化率県内1位の課題先進地)

○テーマ

地域の資源や特色を活かして
自分らしく生きるためには

- ・都市部では実現できない豊かさとは？
- ・子育てしやすい地域にするには？
- ・地域の資源を活かして生計をどう立てる？



南伊勢町

50km

南伊勢町

インプット(知る)

- ・県外の高校生による先進的な取組の実践発表
- ・南伊勢町内でフィールドワーク
〈現地の職業人へのインタビュー〉

インテイク(深める)

- ・パネルディスカッション
- ・学校の枠を越えて徹底討議
～1泊2日の合宿形式～

アウトプット(発表する・行動する)

- ・ポスターセッション
- ・南伊勢町長への提言を取りまとめ

主体的に
深く学ぶ

一人ひとりが
地元で実践!



宿舎は元小学校の校舎

会場(海ぼうず)